

<司令官ケネス・メイナー大佐の2020年5月31日のビデオメッセージ（要約）>

世界中どこでも、子どもにピースサインをしたら、ピースサインが返ってきます。親指を立てたら、親指が返ってきます。ハートを作ったら、ハートが返ってきます。人間はそういうふうに造られているのでしょう。結婚式でよく引用される聖書箇所にもコリントの信徒への手紙一13章の「愛の章」があります。特に8節の「愛は決して滅びない」という言葉をおぼえたいと思います。英語の聖書では「愛は決して失敗しない」と訳されています。だれかを愛そうとしても、期待と正反対の反応を受け取ることがありますよね。だから、愛は失敗するじゃないか、という人もいます。しかし、この箇所でパウロは、キリストの愛について書いているのです。もしあなたがイエスの愛を受け取るなら、あなたは不完全な人間であっても、神の愛が、あなたの思い・行動・態度・考え方を変えてくれます。だれかを愛して、同じように愛で返されたいと期待したら、それは条件付の愛です。しかし、神の愛は無条件の愛で、すべての人に注がれています。あなたがだれかに愛をしたとき、期待とは違うものを受け取るかもしれません。しかし、イエスの名によってあなたが愛するならば、神の国では必ず「いいね」のサインをもらえます。あなたの愛は必ず報われ、永遠に至るのです。イエスの愛をもって人々を愛するなら、それは必ず勝利します。ぜひ「あなたのことを大切に思っています」と書いたメッセージを、伴侶、親、子ども、家族、友人や知人に送っていただきたいと思います。あなたを傷つけた人がいるならば、聖霊の助けと祈りを通して、ぜひ、ゆるしの祈りをささげていただきたいと思います。